



毎日、発明する会社
again!

2021年4月期

第2四半期決算説明資料

フリービット株式会社

2020年12月11日

1. 2021年4月期 第2四半期 連結業績
2. 2021年4月期 第2四半期 セグメント別業績及び事業進捗
3. 2021年4月期 連結業績進捗

略称について

略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
ALC	(株)アルク=完全子会社
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア (現：(株)くすりの窓口) 2Q末に非連結化
FBEPHG	フリービットEPARKヘルスケア (現：(株)くすりの窓口) グループ 2Q末に非連結化
FBI	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
BI	(株)ベッコアム・インターネット=完全子会社
FS	(株)フルスピード=東証二部上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイット=(株)フルスピードの完全子会社
CR	(株)クライド=(株)フルスピードの完全子会社

略称	社名及び説明
FSL	(株)フルスピードリンク=(株)フルスピードの子会社
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバース 2Q末に非連結化
SV	(株)ソフト・ボランチ=(株)ギガプライズの完全子会社
GT	(株)ギガテック=(株)ギガプライズの完全子会社
略称	セグメント名
Infra	インフラテック事業
RET	不動産テック事業
ADT	アドテック事業
HT	ヘルステック事業
ET	エドテック事業

■ with/afterコロナの新常態について

緊急事態宣言解除後は徐々に経済活動が再開されつつあるものの、冬期の新型コロナウイルス感染症の拡大も懸念されるなど未だ予断を許さない状況の中、今後の景気や経済活動が見通しにくい状況が続いています。

■ 新型コロナウイルス感染症対策について

お客様、お取引先様、従業員及びその家族の健康に配慮し、感染抑制及び感染拡大の防止に努めております。就業を原則テレワークとしていることをはじめ、不要不急の外出・出張・会食の抑制、大人数での会議の自粛やテレビ会議の活用などの対策を講じながら、お客様、お取引先様、従業員及びその家族の健康と安全を第一に事業活動を継続しています。

■ freebit Save You

毎日、自らの体調を測定・記録することにより、万が一不調となった場合も早急に正しい対応を取れるようにするため、グループ従業員向けに体調情報やテレワークの出退勤が申告できるアプリ「**freebit Save You**」を開発し運用しております。**現在の当社平均出社率は3割程度**となっております。

freebit Save You



1. 2021年4月期 第2四半期 連結業績

子会社株式の売却に伴う連結範囲の変更について



FM(2Q期末)、FBEPH(2Q期末)及びALC(3Q期首)を非連結化

2020年9月17日開示

「フリービットEPARKヘルスケア及びアルクの株式譲渡及び特別利益の計上」の適時開示

2020年9月30日開示

「フォーメンバーズの株式譲渡及び特別損益の計上」の適時開示



2020年9月17日

各位

会社名 フリービット株式会社
(コード番号 3843:東証第一部)
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
代表者 代表取締役社長 CEO兼CTO 石田宏樹
問合せ先 取締役執行役員グループ経営企画部長 和田育子
電話番号 03-5459-0522(代表)
(URL <http://www.freebit.com>)

連結子会社の異動を伴う株式譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、次期中期経営計画の骨子「SILK VISION 2024 にむけて」で公表した「Silk Investment Policy」に基づき、その第一弾、第二弾として、当社の連結子会社である株式会社フリービットEPARKヘルスケア(以下「FEH」)及び株式会社アルク(以下「アルク」)の株式を譲渡(以下「本譲渡」)することを本日開催の取締役会において決議いたしました。

また、本譲渡に伴い、2021年4月期において、特別利益を計上する予定となりましたので、あわせてお知らせいたします。

なお、本譲渡に伴い、FEH及びアルクは、当社の連結の範囲から除外されることとなります。

記



2020年9月30日

各位

会社名 フリービット株式会社
(コード番号 3843:東証第一部)
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
代表者 代表取締役社長 CEO兼CTO 石田宏樹
問合せ先 取締役執行役員グループ経営企画部長 和田育子
電話番号 03-5459-0522(代表)
(URL <https://freebit.com/>)

当社連結子会社(株式会社ギガプライズ)における 特定子会社の異動(株式譲渡)及び特別損益の計上に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社ギガプライズ(名証セントレックス コード番号:3830)が、本日、特定子会社の異動(株式譲渡)及び特別損益の計上に関する公表をおこないましたので、添付のとおりお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の2021年4月期通期(2020年5月1日~2021年4月30日)の連結業績に与える影響は軽微であります。

連結範囲変更スケジュール



本日の決算発表範囲

2021年4月期 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)	21年04期 第2四半期	20年04期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	28,117	27,094	+1,022	3.8%
EBITDA	2,520	1,950	+570	29.2%
営業利益	1,989	986	+1,002	101.7%
経常利益	2,029	908	+1,120	123.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,405	△181	+1,587	—
1株当たり純利益	64円27銭	△8円20銭	+72円47銭	—

2021年4月期第2四半期連結業績は、テレワーク需要増に伴うインフラテック事業利益増及び不動産テック事業の堅調な推移等により増収増益

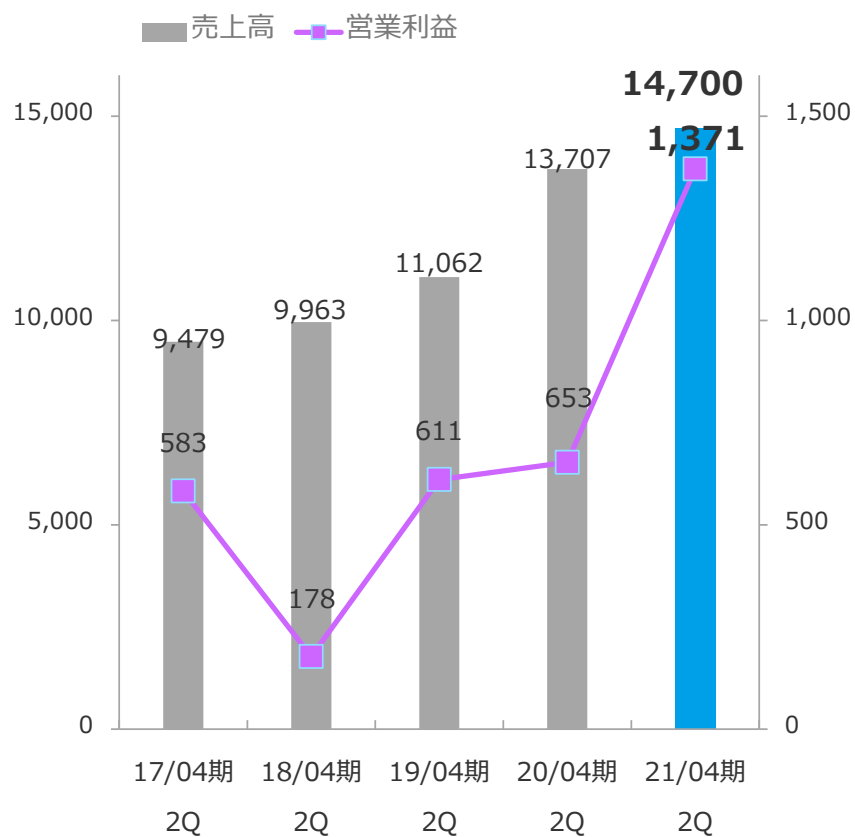
- ・売上高：エドテック事業及びアドテック事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるもテレワーク需要増等により前年同期比3.8%増
- ・営業利益：テレワーク需要増に伴うインフラテック利益増等により前年同期比101.7%増
- ・経常利益：営業利益増により前年同期比123.3%増
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：経常利益増等に加え、連結範囲の変更等による特別損益の計上により前年同期比1,587百万円増
- ・1株当たり純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益増及び自己株式取得により増

四半期会計期間実績推移

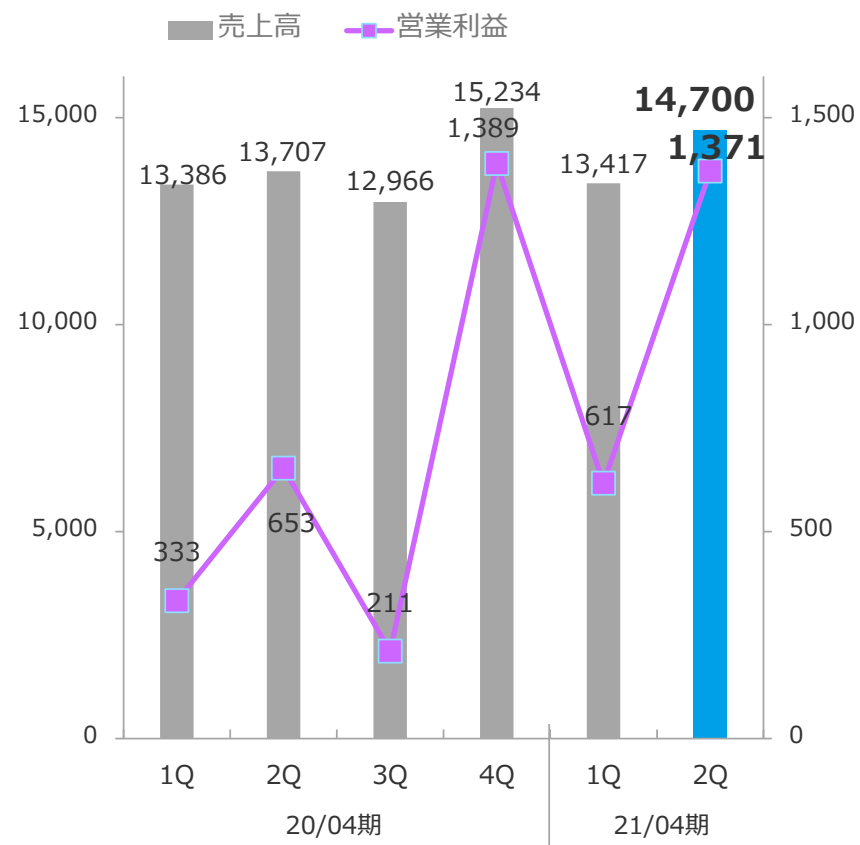
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるも、テレワーク需要増等により、営業利益は前年同期比101.7%増

(単位：百万円)

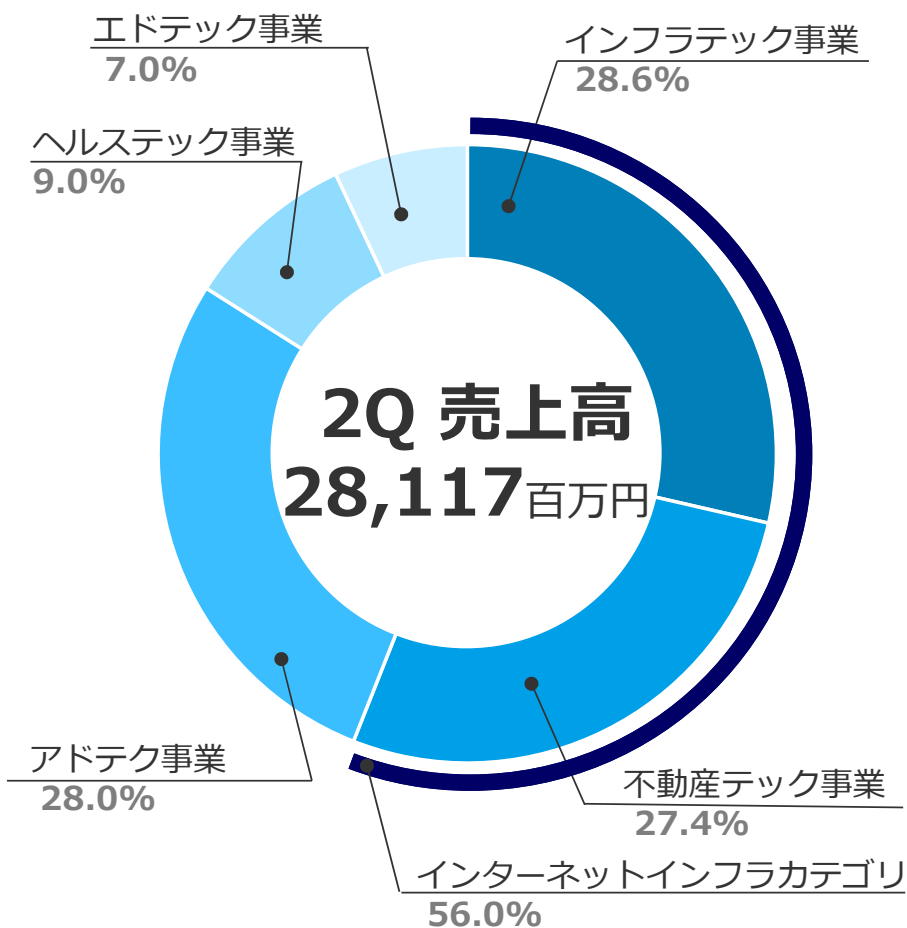
第2四半期実績推移



直近の四半期実績推移



インフラテック事業及び不動産テック事業が増収増益を牽引



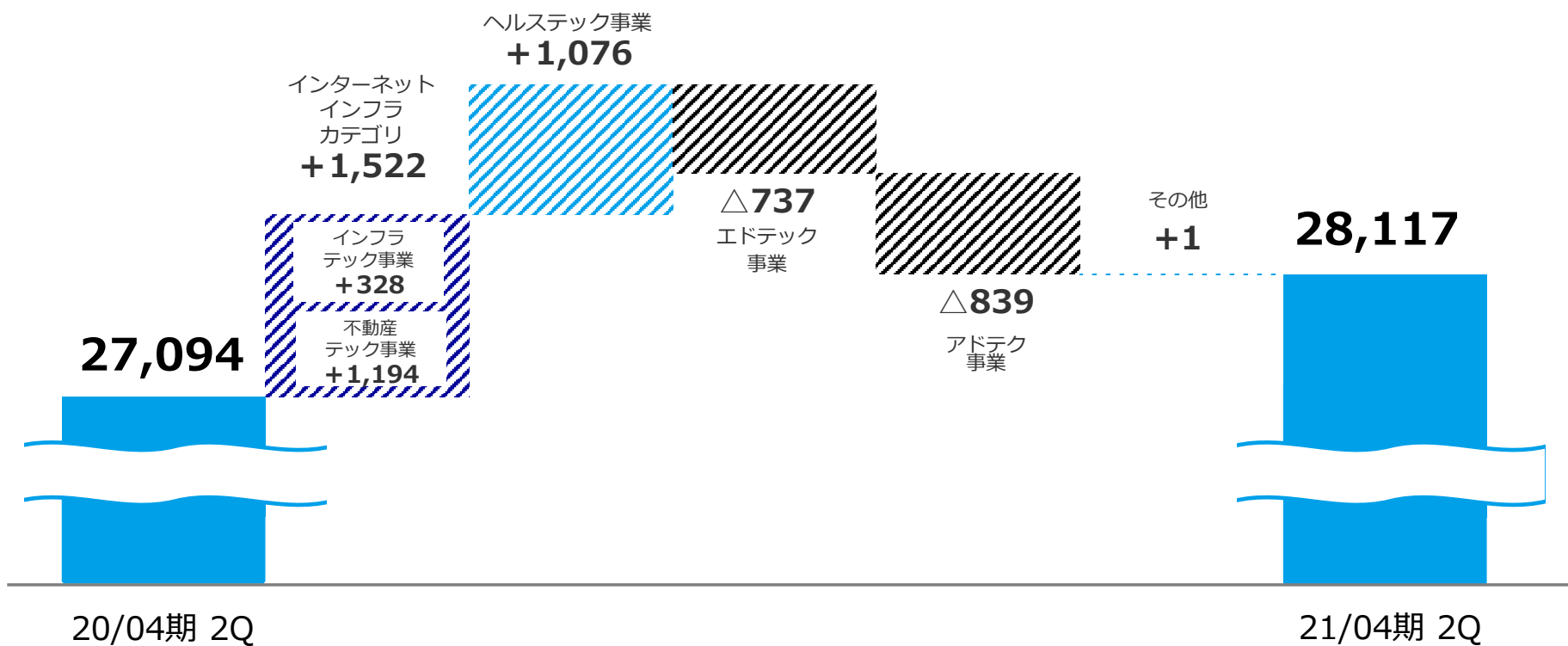
売上高	セグメント損益
インフラテック事業	
8,126 百万円 YoY +4.2%	590 百万円 YoY +71.2%
不動産テック事業	
7,759 百万円 YoY +18.2%	1,010 百万円 YoY +29.4%
アドテック事業	
7,954 百万円 YoY △9.5%	320 百万円 YoY △17.9%
ヘルステック事業	
2,550 百万円 YoY +73.0%	305 百万円 YoY +587百万円
エドテック事業	
1,992 百万円 YoY △27.0%	△240 百万円 YoY +17百万円

インターネット
インフラカテゴリ

前年同期比差異分析 売上高

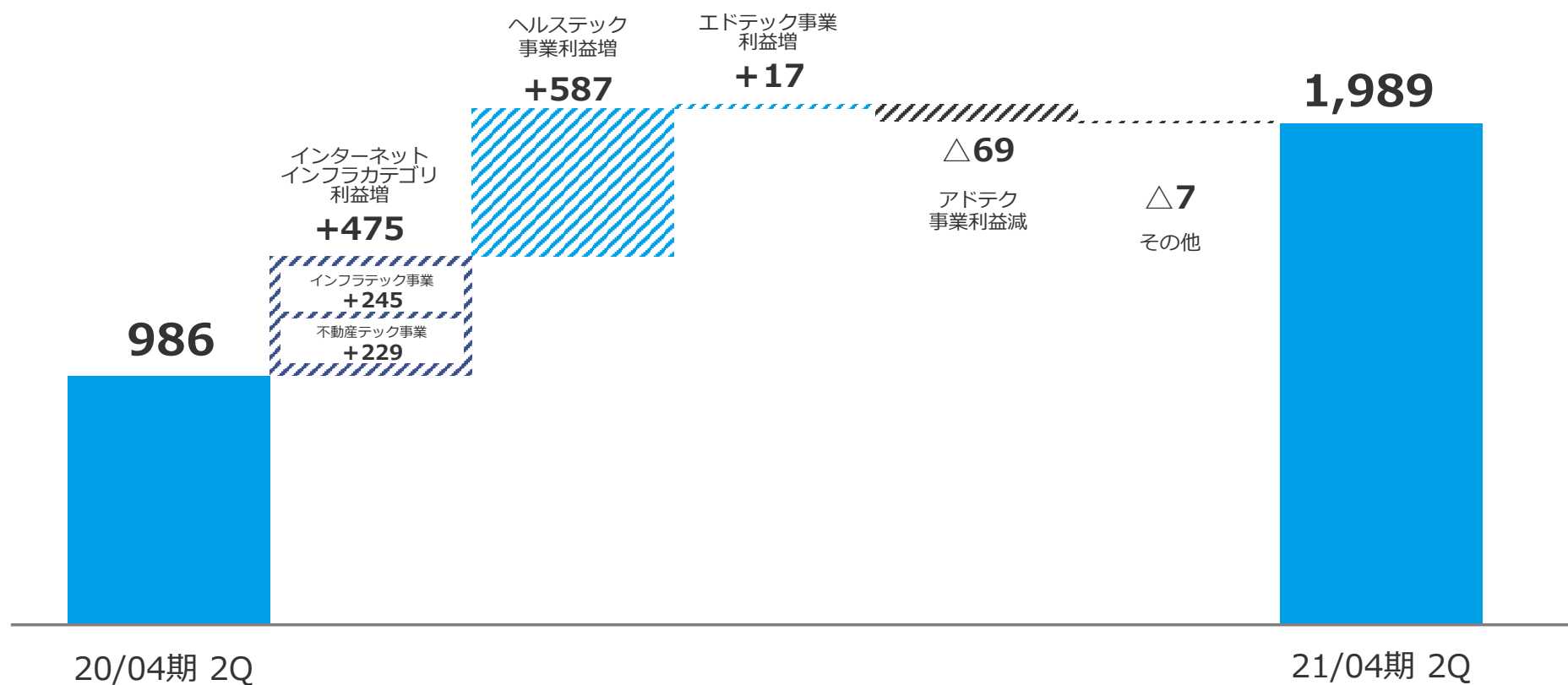
エドテック事業及びアドテック事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるも、テレワーク需要増等により前年同期比3.8%増

(単位：百万円)



インフラテック事業及び不動産テック事業利益増に加え、ヘルステック事業の拡大により前年同期比101.7%増

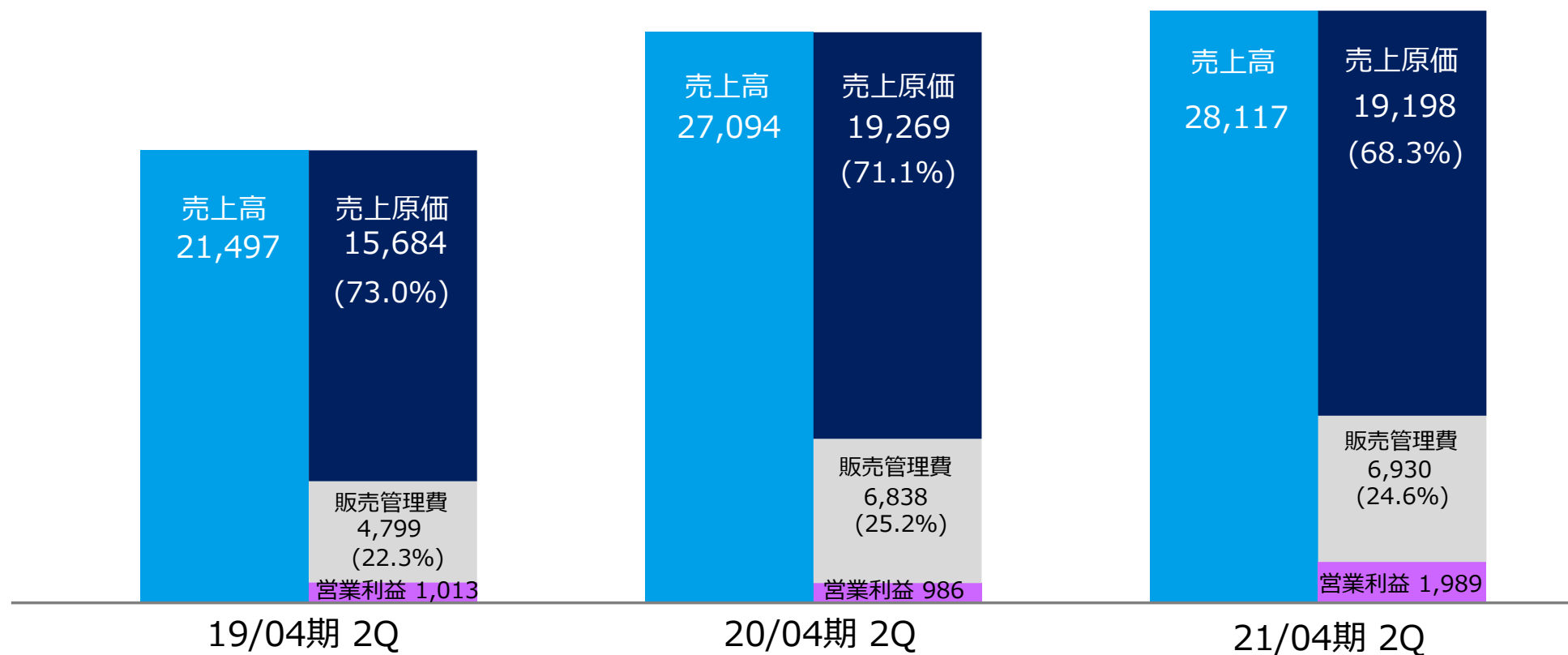
(単位：百万円)



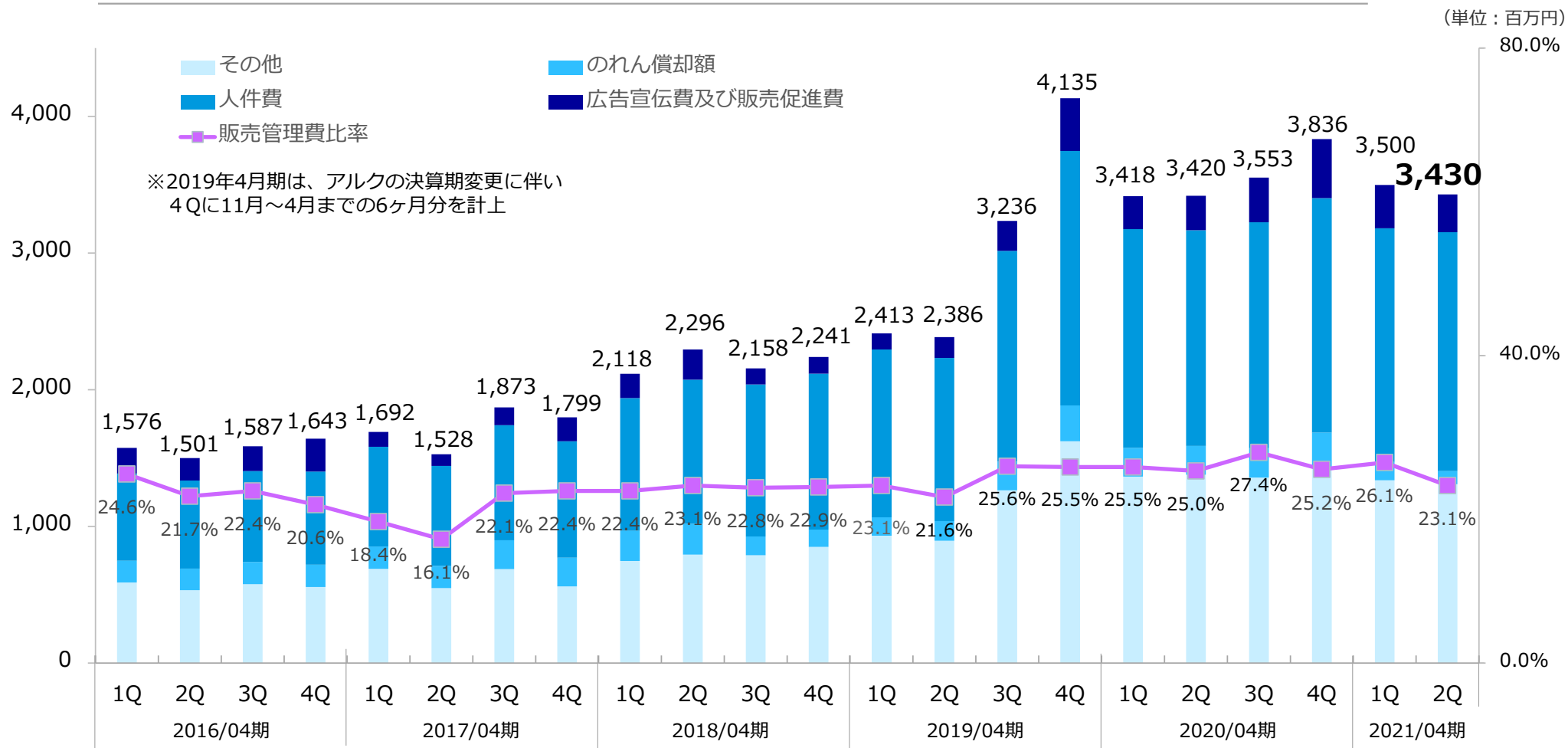
連結業績サマリ 収益構造推移

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるも、テレワーク需要増等により、売上高及び営業利益増

(単位：百万円)

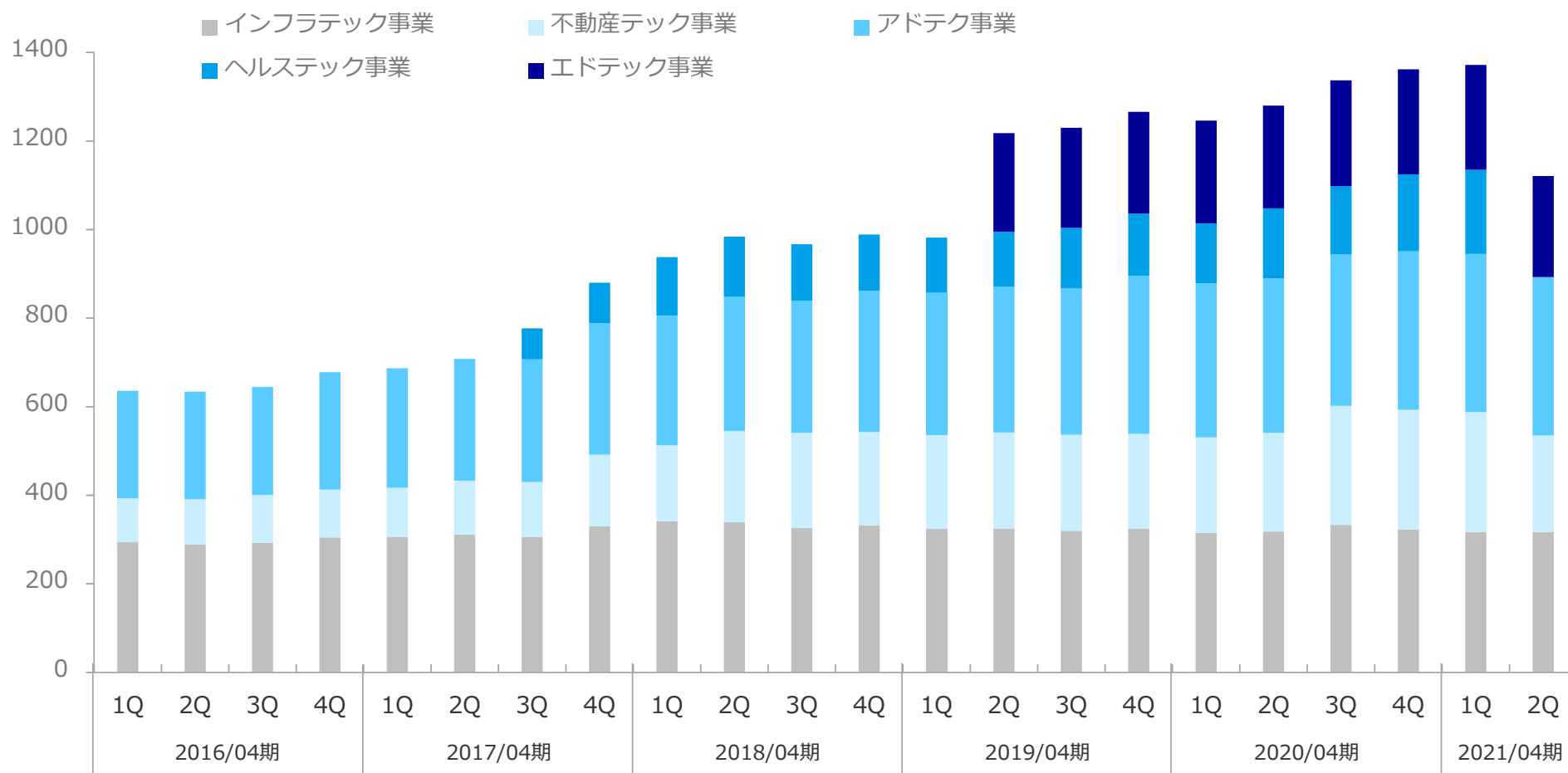


前期4Qののれん減損も影響し、販売管理費は前期末より減少傾向



FBEPHの株式譲渡（非連結化）に伴い人員数減

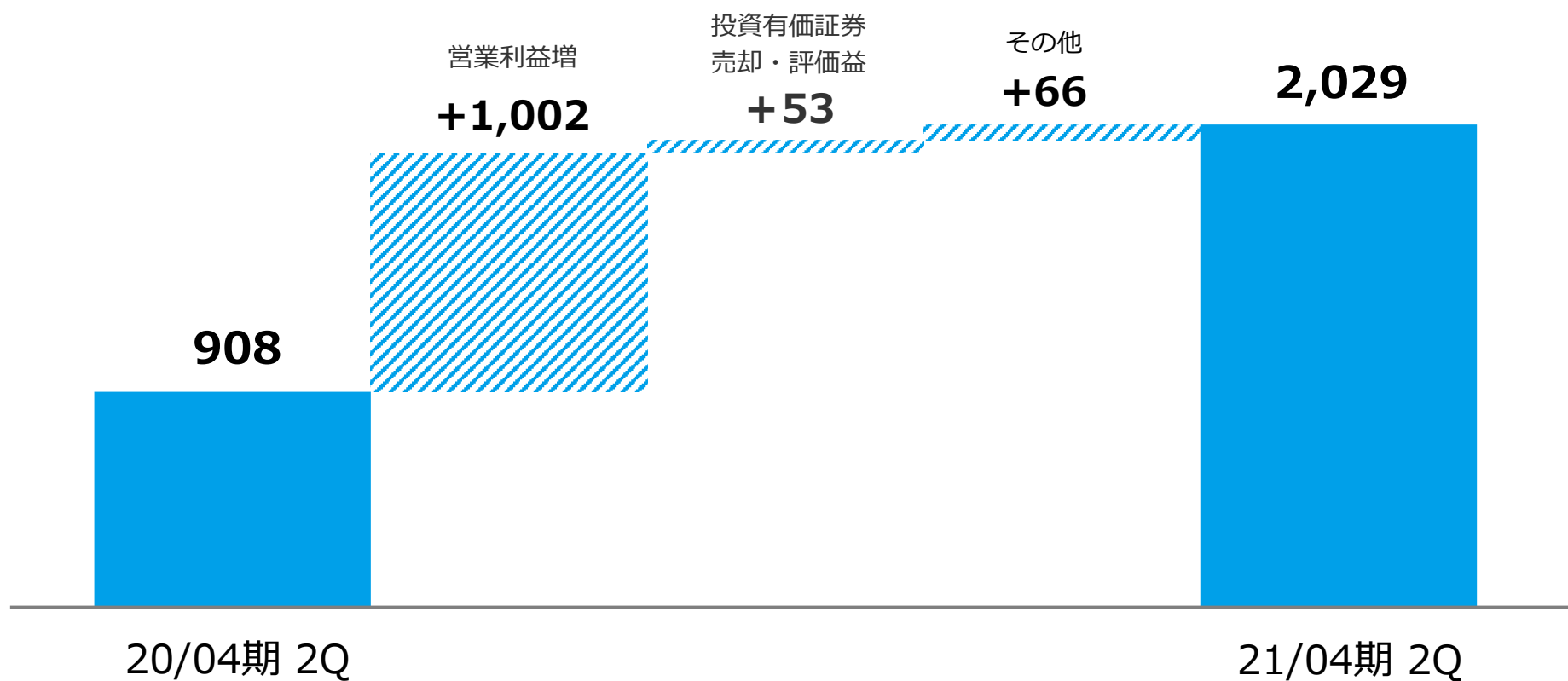
(単位：人)



前年同期比差異分析 経常利益

インフラテック事業及び不動産テック事業利益増に加え、ヘルステック事業拡大による利益増により前年同期比123.3%増

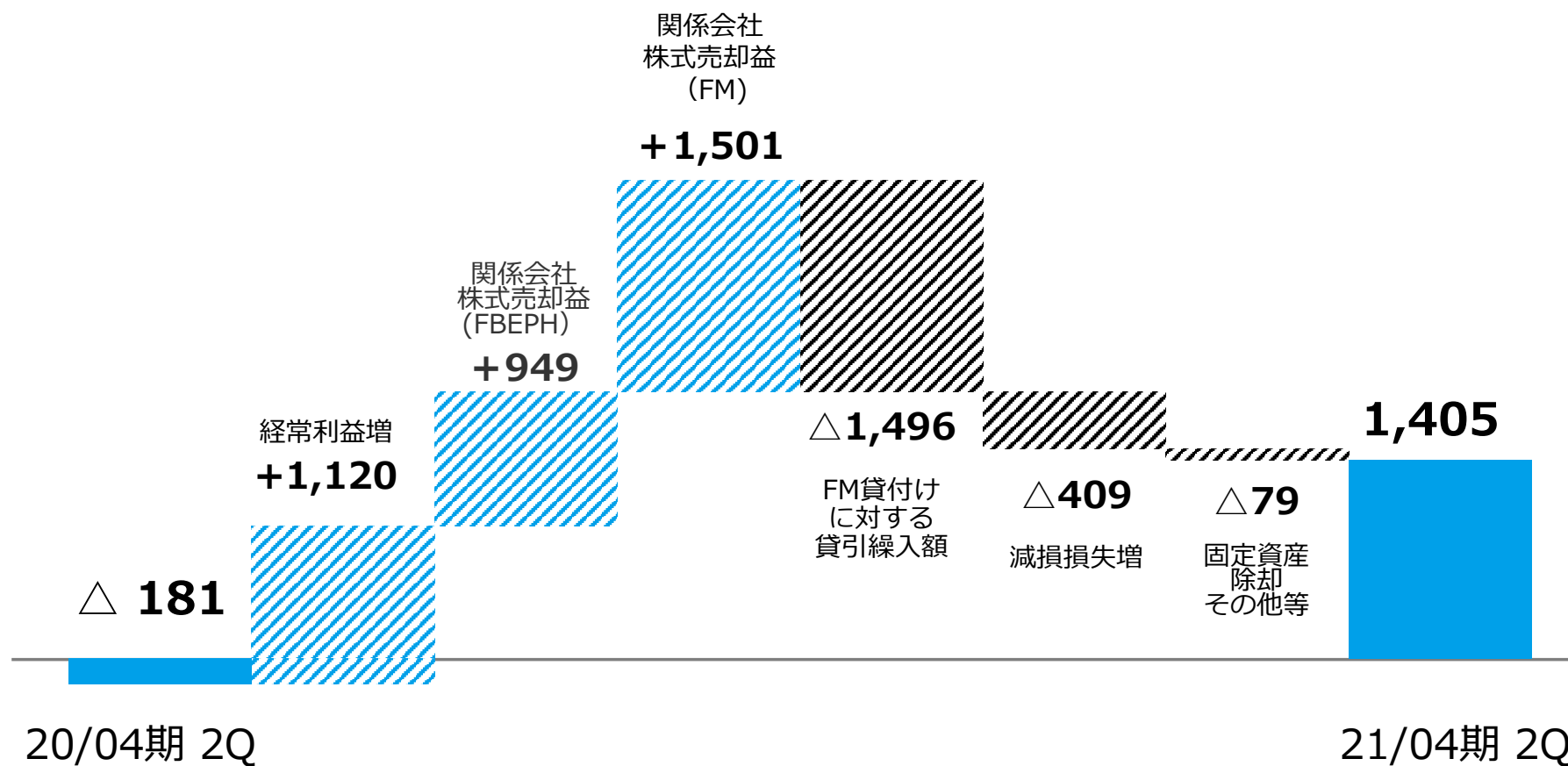
(単位：百万円)



前年同期比差異分析 親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益増に加えFM及びFBEPHの株式売却により、前年同期比
1,587百万円増

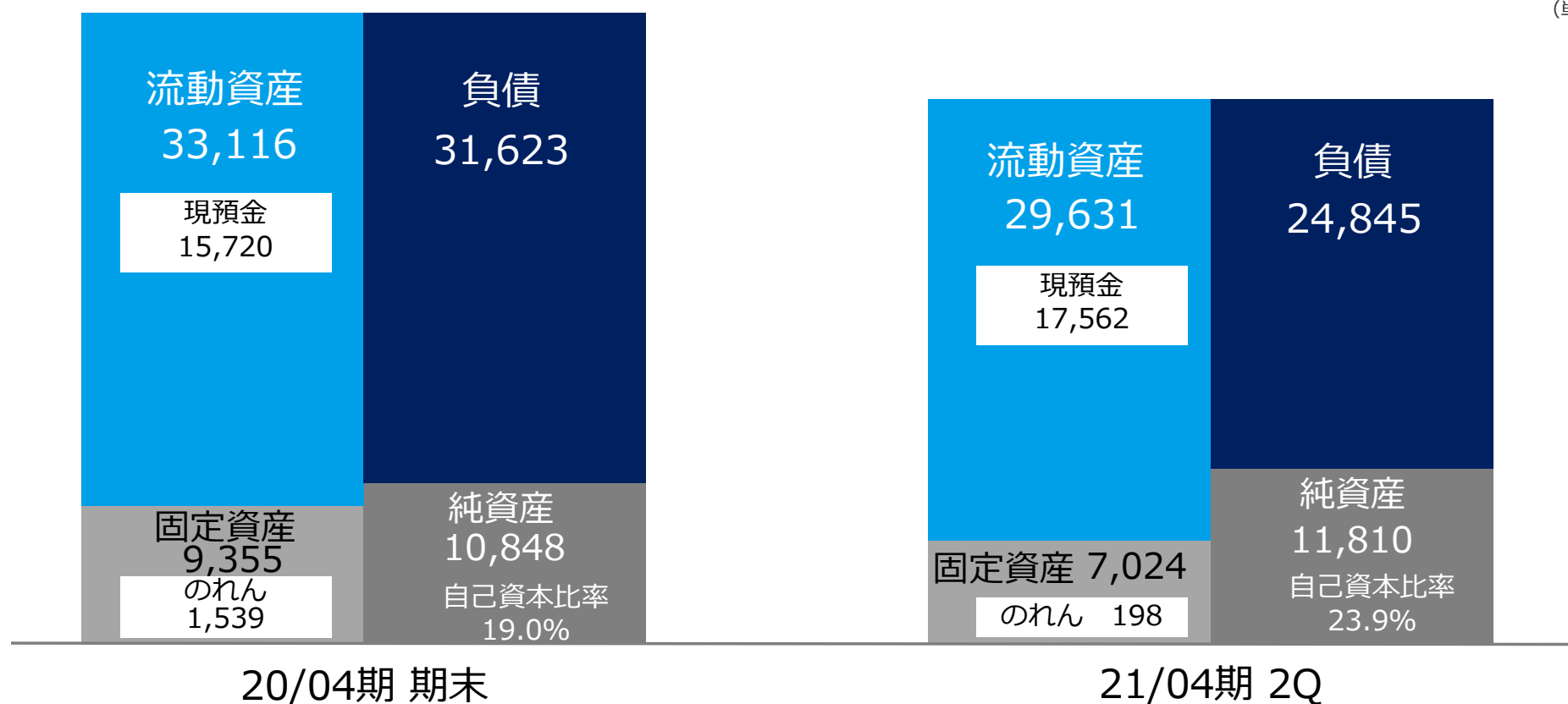
(単位：百万円)



連結業績サマリ BS比較

関係会社株式 (FM・FBEPH)の売却に伴う連結範囲の変更により、資産負債がオフバランスされ、自己資本比率は前期末比4.9%増の23.9%に。3Q期首のALCオフバランス後は、自己資本比率は約25.6%(参考)に改善

(単位：百万円)

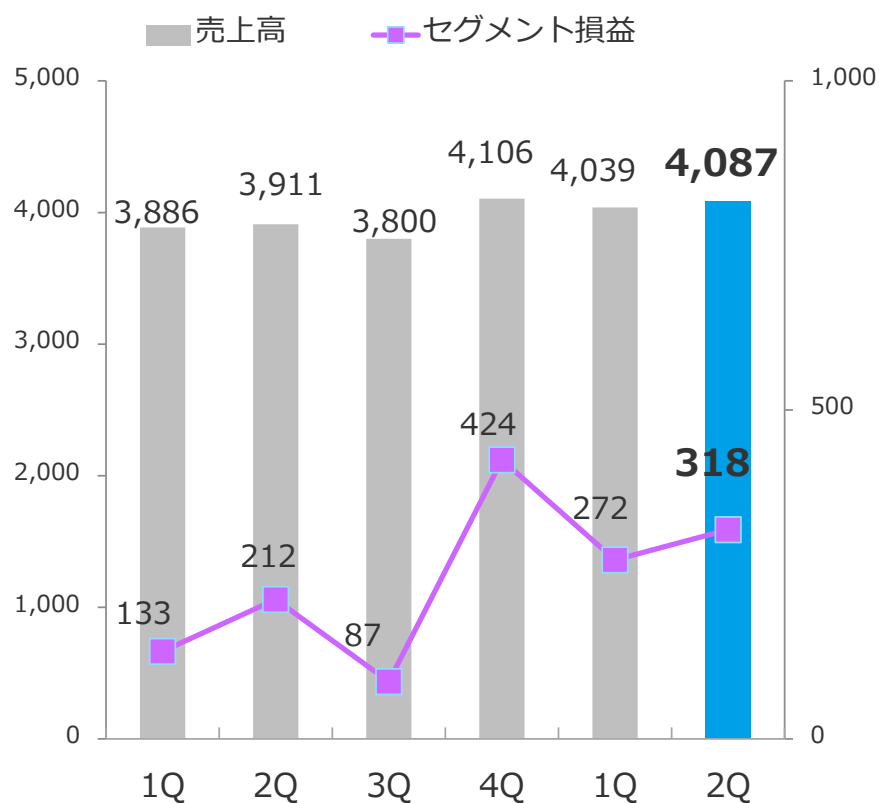


2. 2021年4月期 第2四半期 セグメント別業績及び事業進捗

テレワーク需要増により、前年同期比 売上高4.2%増、セグメント損益71.2%増

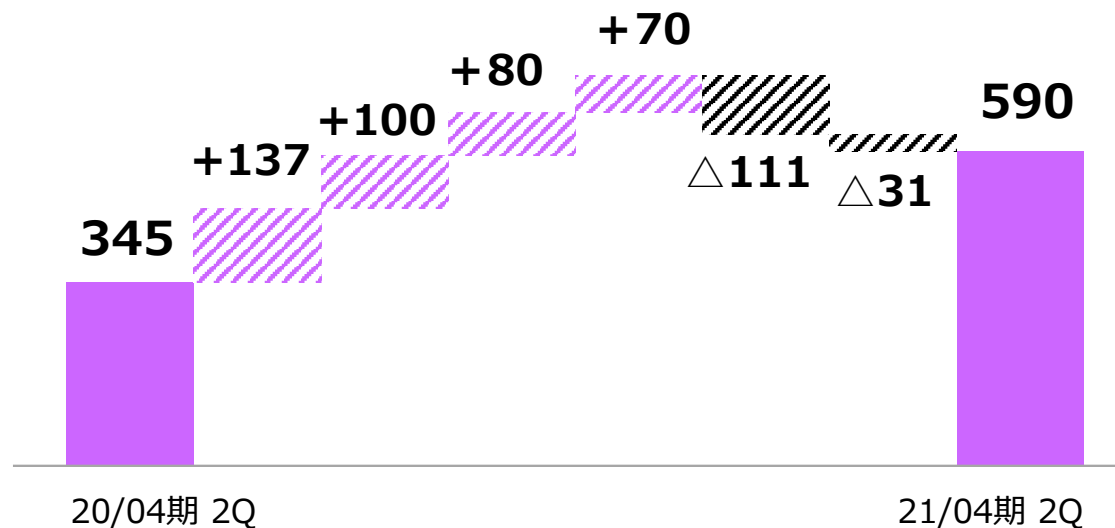
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- +137 モバイル売上増
- +100 コラボ系及びオプション売上増
- +80 不採算事業の整理による利益改善
- +70 トーンモバイル事業承継による利益増
- △111 固定網利益減
- △31 その他



フリービットの技術を活用した新サービスやキャンペーン実施を発表

11月27日発表

トーンモバイル、“新常態”の問題をスマホで解決する「Go Toあんしんスマホ」キャンペーン実施



12月11日発表

FB、CaaSにおけるアルプスアルパインとのサービス連携を強化

ALPSALPINE
Perfecting the Art of Electronics

 freebit
毎日、発明する会社

同社社有車管理・デジタルキーシステムが「The Key」のコアAPIを採用。サブスクリプションベースの業界特化型ナビへのサービス連携を開始

12月11日発表

FB、データSIMを利用した050音声通話サービスの提供開始

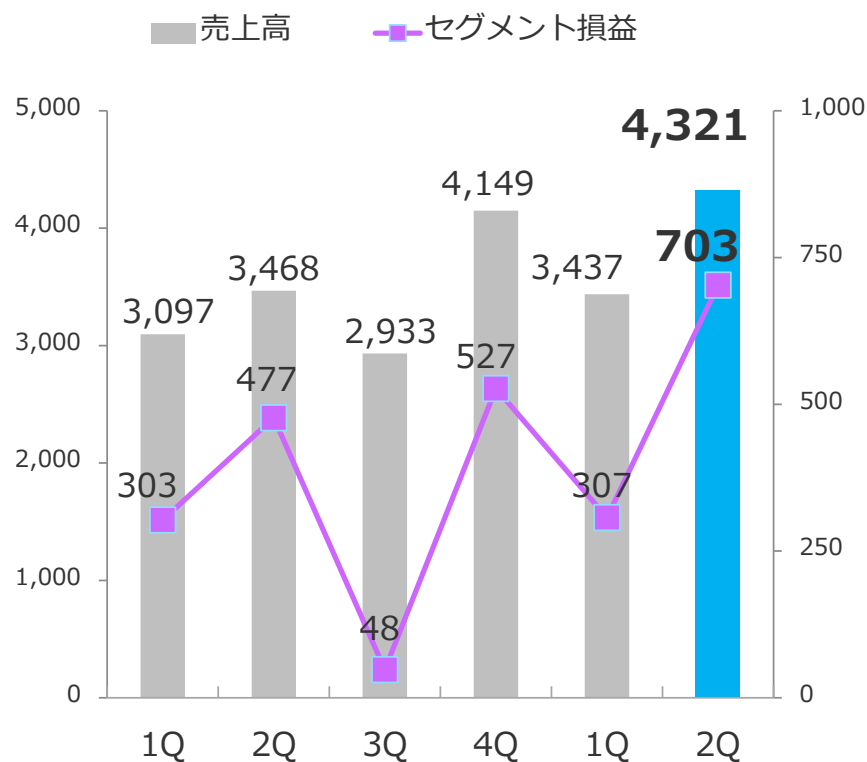
 freebit
MVNO Pack

MVNO支援パッケージサービス
「freebit MVNO Pack」にて、トーンモバイルの技術を活用し、データSIMで電話番号を持つことができるサービスを近日提供開始

マンションインターネットの堅調な推移により、前年同期比増収増益

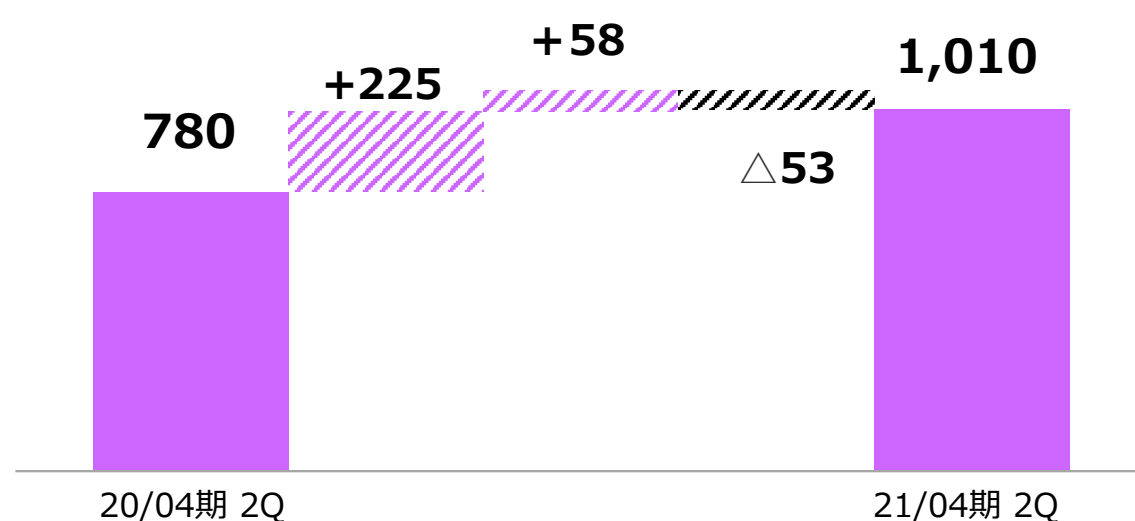
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

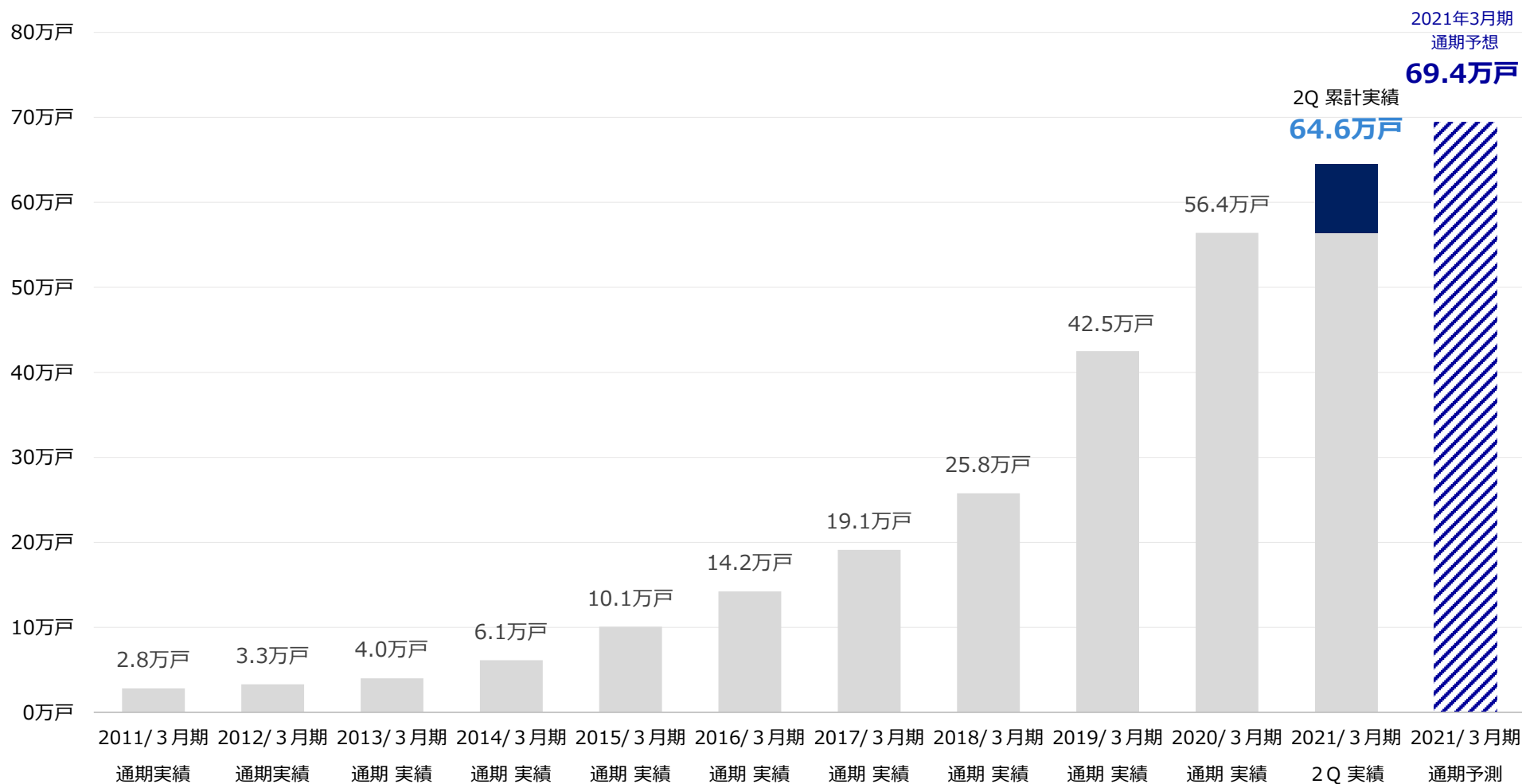


セグメント損益前年同期比差異分析

- +225 インフラ領域売上増による粗利増等
- +58 不動産領域売上増による利益増
- △53 人件費増等



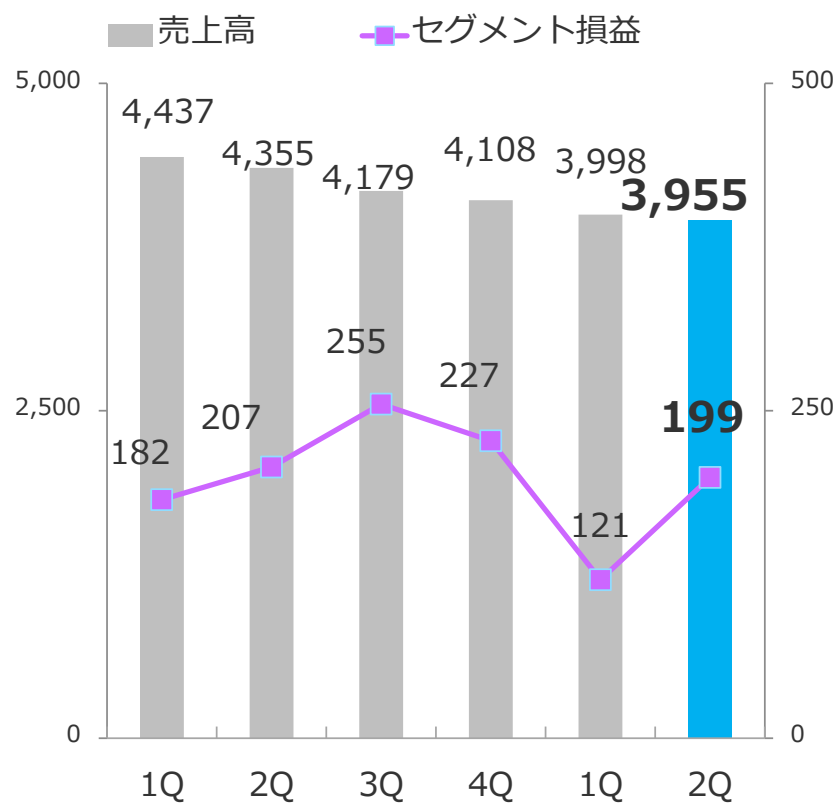
サービス提供戸数は、前期末(56.4万戸)から8.1万戸増の64.6万戸を達成



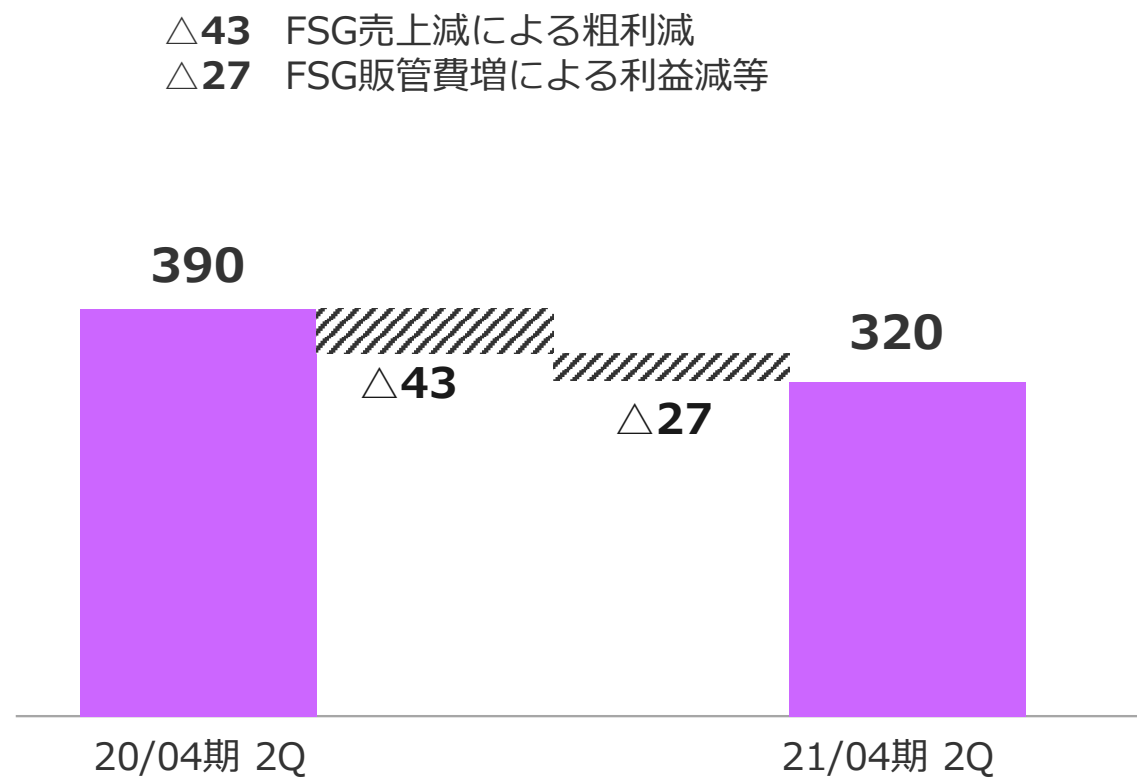
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け前年同期比減収減益、緊急事態宣言解除以降は緩やかな回復基調

(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

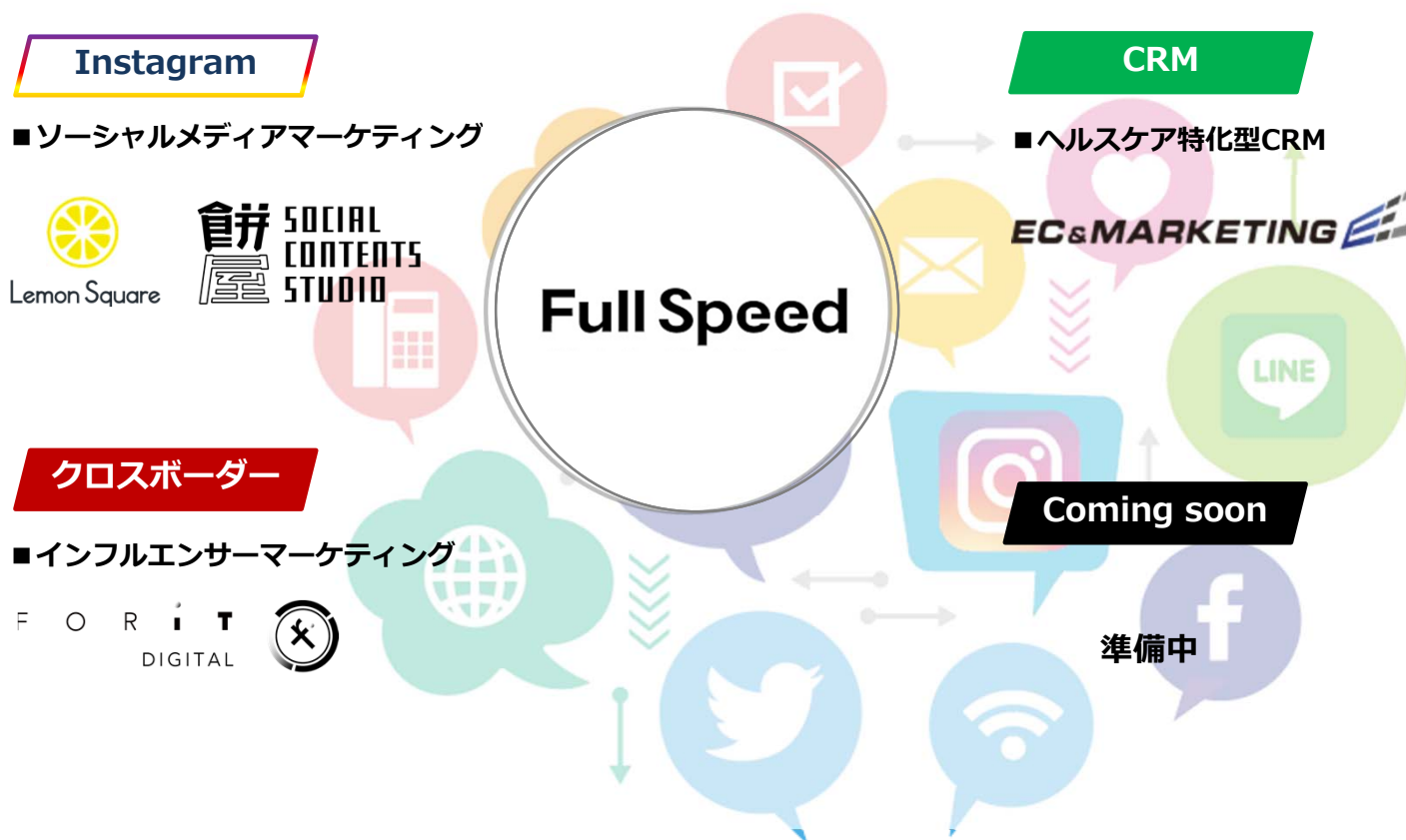


セグメント損益前年同期比差異分析



高まるDX需要に応じたソーシャルメディア・マーケティング事業の展開加速

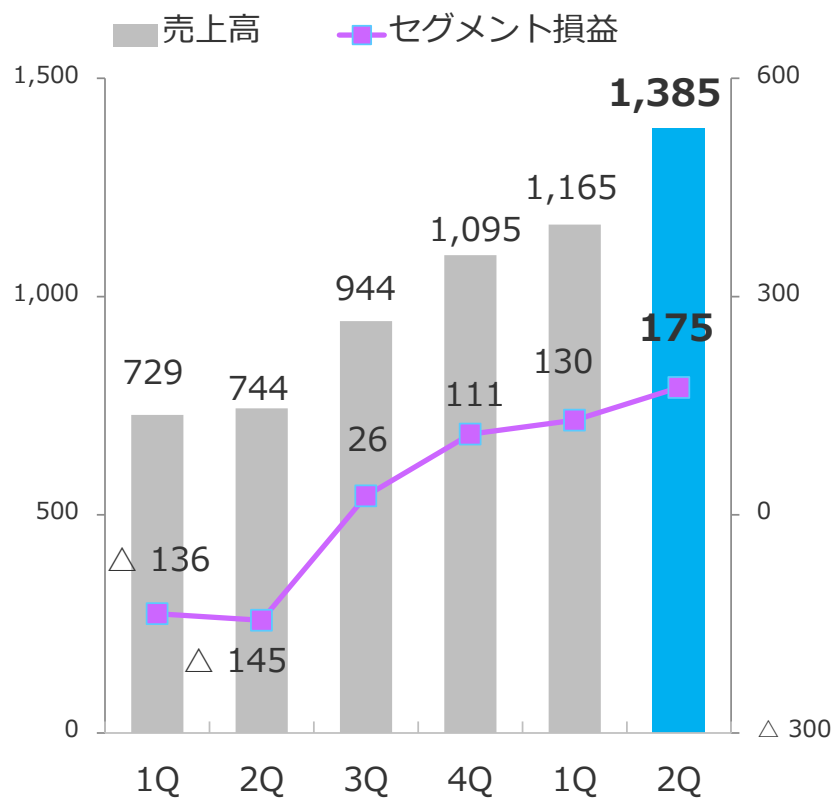
各領域で強みを有する外部企業との戦略提携による総合ソリューション力向上



事業拡大により前年同期比 売上高73.0%増、セグメント損益587百万円増

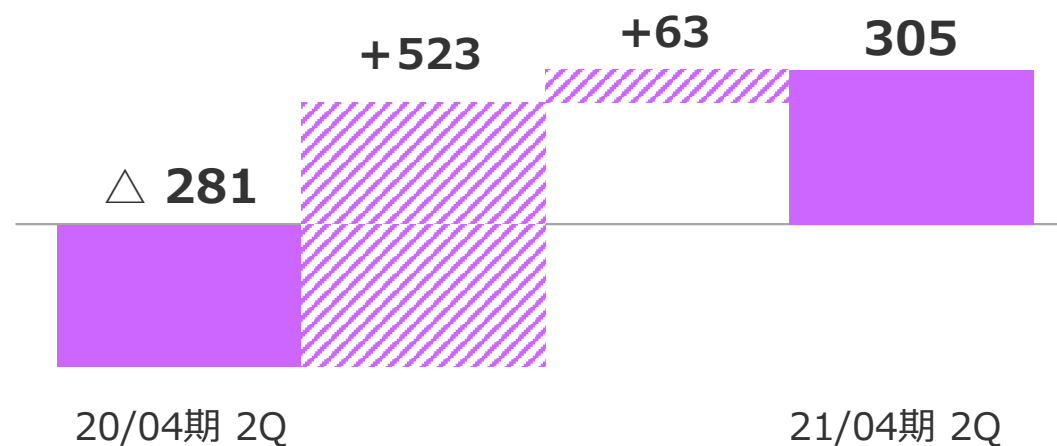
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

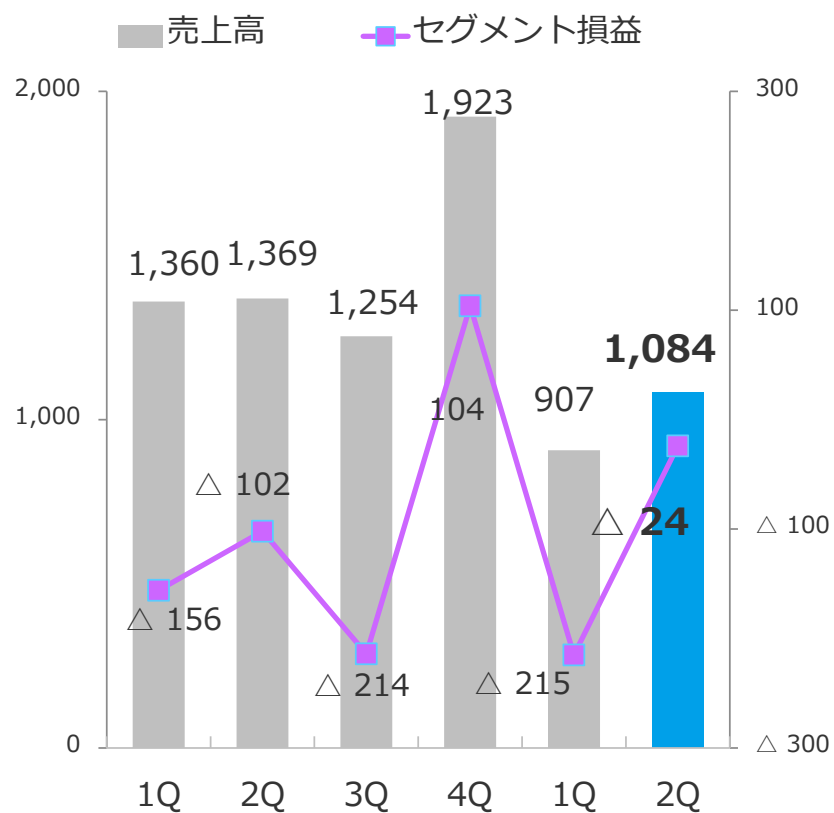
+523 FBEPHG売上増等による利益増
+63 不採算事業の整理による利益改善等



新型コロナウイルス感染症の影響が続き、売上高は前年同期比27.0%減

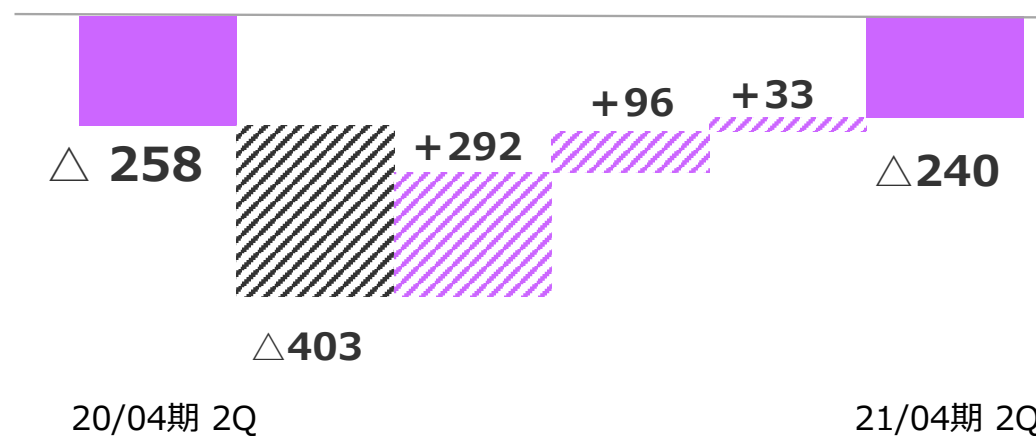
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- △403 アルク売上減に伴う粗利減
- +292 アルク費用抑制に伴う利益増
- +96 のれん償却額減による利益増
- +33 その他



3. 2021年4月期 連結業績進捗

2021年4月期通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)	今回修正予想 (B)	前回発表予想 (A)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2020年4月期)
売上高	52,000	54,000	△2,000	△3.7%	55,295
営業利益	2,400	1,900	+500	+26.3%	2,587
経常利益	2,300	1,700	+600	+35.3%	2,481
親会社株主に帰属 する当期利益	750	△200	+950	—	△619
1株当たり純利益	34円31銭	△9円11銭	43円42銭	—	△27円93銭

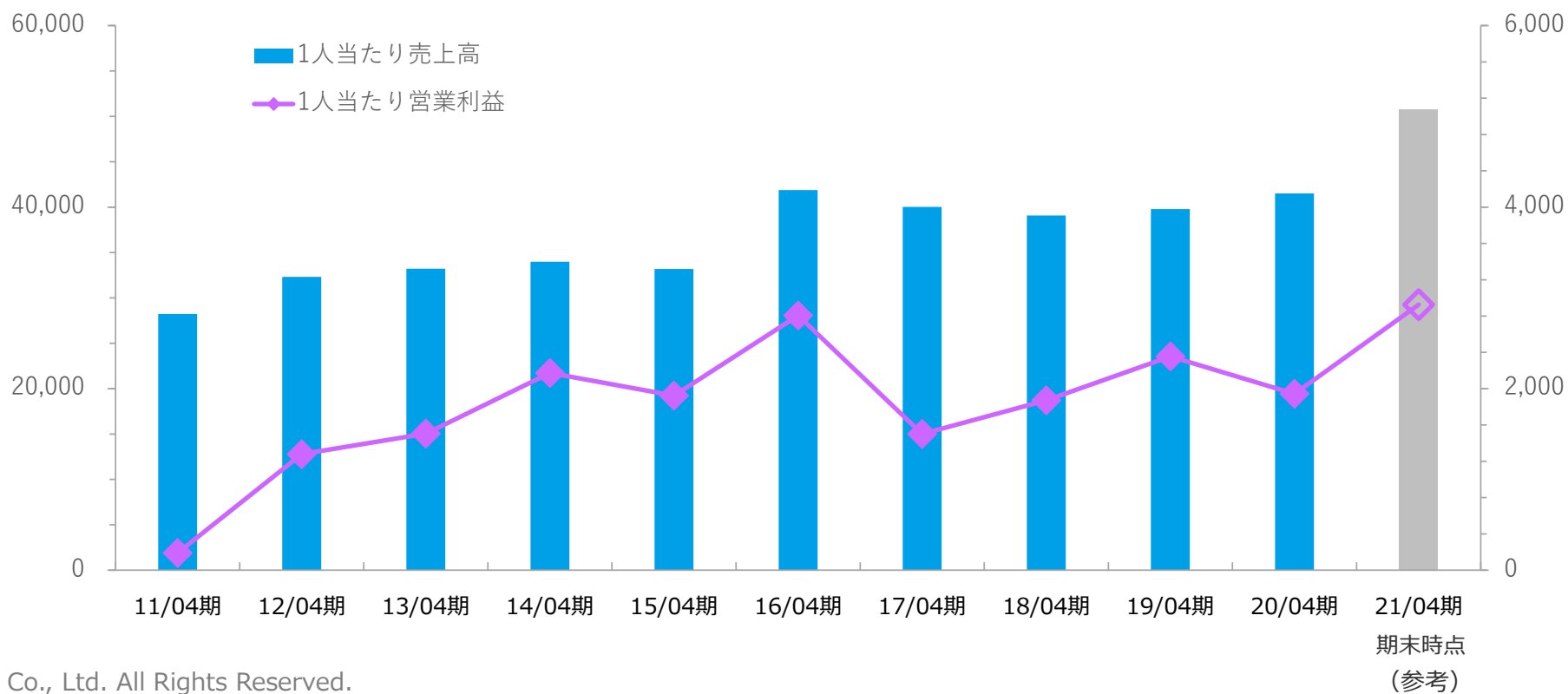
- SiLK Investment Policyに則ったオフバランス化に伴う売上減及び利益微減
 - ・ヘルステック事業：フリービットEPARKヘルスケア
 - ・エドテック事業：アルク
 - ・不動産仲介事業：フォーメンバーズ
- インフラテック事業や不動産テック事業を中心とした既存事業の上期収益積み上げによる利益増
- 新型コロナウイルス感染症の冬期拡大懸念を踏まえた事業進捗の勘案
- 期初に予定していた投資施策が新型コロナウイルス感染症の影響等により実施時期見直し（上期→下期）に加えpre 5G関連投資施策等、19.5億円を織り込む

1人当たり売上高・営業利益

FBEPH及びALCのオフバランス化及び生産性の向上により、1人当たり売上高・営業利益が改善の見込み

SiLK VISION 2013	SiLK VISION 2016	SiLK VISION 2020	今期
---------------------	---------------------	---------------------	----

(単位：千円)



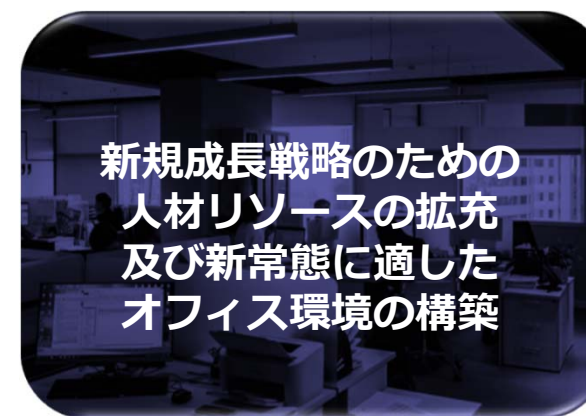
トランスフォーメーション・ターム (2020.5-2021.4)

新常態においても持続的成長可能な企業グループとしての準備を行うために、SiLK VISION 2020 rev2をベースとした戦略移行期間を1年設定



新型コロナウイルス感染症の影響等により、期初に予定していた投資施策の実施時期見直し（上期→下期）に加え、pre 5G関連投資を実施予定

下期において、pre 5G関連投資、国際情勢を鑑みた設備・機材の見直し、新常態における安心・安全な働き方の実現及び技術リソースの拡充等に向けて投資を実施予定







毎日、発明する会社
again!

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営管理本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <https://freebit.com/>